



年 組 名前

道新で
ワークシート2020年2月期決算
コンビニ3社

	売上高	営業利益	純利益
セブン-イレブン・ジャパン	8876 (1.6)	2539 (3.6)	1696 (10.7)
ローソン	7302 (4.2)	629 (3.6)	201 (▲21.4)
ファミリーマート	5170 (▲16.2)	645 (25.2)	435 (▲4.1)

※単位は億円。カッコ内は前期比増減率(%)。▲はマイナス。セブン-イレブン・ジャパンは、親会社のセブン&アイ・ホールディングスの決算資料から抜粋。ファミリーマートの営業利益は国際会計基準の事業利益

セブン-イレブン・ジャパン、ファミリーマート、ローソンのコンビニ3社各社の2020年2月期決算が出そろった。昨年10月の消費税増税に伴うキャッシュレス決済のポイント還元を追い風に各社とも利益を

コンビニ3社営業増益

2月期 ポイント還元追い風に

増やした。ただ、新決算期に入った今年3月の全店売上高は3〜7%減っており、新型コロナウイルス感染拡大が経営の大きな重しになっている。

セブンは店舗を増やす一方で販売管理費を抑え、営業増益となった。しかし足元では新型コロナウイルスの影響でオフィス街や行楽地にある店舗を中心に売上高を減らしており、3月の全店売上高は3・2%減だった。

自治体による外出自粛要請を受け、客が店まで出向かない傾向が強まっているといい、今後は通販や宅配に力を入れる方針だ。

ローソンは一部店舗で休業や時短営業する一方、住宅街の店は好調だ。今後は毎日食卓に上る牛乳や卵などの品そろえを充実させる。

(小沢弘和)

2020年4月14日(火) 朝刊 全道遅版 経済 12P (記事は再編集しています)

①コンビニ3社の2月決算で利益を増やしたのはなぜか答えなさい。

②今年3月ころからの新型コロナウイルス感染による売上高の影響について、主だって利益の増減が見られる店舗の立地条件を答えなさい。

③現在、なぜこのような立地条件によって、利益の増減が見られるのか考えてみましょう。